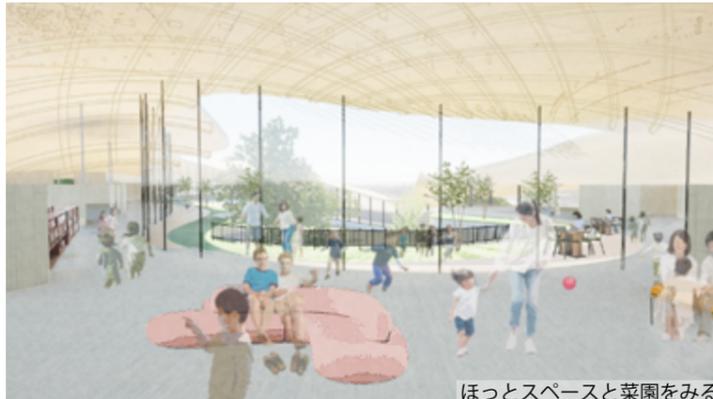


# 西尾に芽吹く生命の輪 ~ 西尾市の新たな知の拠点生涯学習センター ~

緑濃い山々・豊かな水源や古くから親しまれる西尾城など、西尾市では自然と人々が共に生きることで豊かな歴史と文化が育まれてきました。人が集まる公園広場を中心として、緑や風の感じられる居場所を散りばめ、賑わいと落ち着きを併せ持つ生涯学習センターを提案します。



## ■西尾の風景に寄り添い、交流とランドスケープをつくる循環の輪

□西尾の自然、文化、産業の「ミライの輪」  
 ・海、山、川に囲まれた豊かな自然環境の中で、地域に根ざして育まれる西尾の文化と人の営みがつながる拠点を計画します。  
 ・輪状の建築と広場(中庭)が作り出す多様な自然環境との触れ合いの場は、人と自然、そして地域を擁護し、未来への創出の場となります。

□細いヴォリュームでつながる「フウケイの輪」  
 ・建物ヴォリュームを敷地に合わせてリング状に配置することで、施設内の様々な動きが360度見渡せる広場(中庭)を創出します。広場(中庭)は訪れる多様な人々や生物を大らかに受け入れ、施設内で展開される風景のシーケンスは利用者にとって魅力ある心地の良い空間となります。

## ■全ての人のために使いやすい施設利用計画

□機能的な配置計画・建築デザイン  
 ・西尾市の情報発信・観光・地域交流の拠点として周辺建物と連携し、利用状況に応じて施設をフレキシブルに活用できる計画を行います。  
 ・駐車場や周辺施設からのアクセスを明快にして誰もが気軽に訪れやすい施設とし、利用者・管理者共に使いやすい動線計画を行います。  
 ・西尾市文化会館からの動線に加え、周辺の住宅地や幼稚園、グラウンドに対しても動線を設け、地元住民だけでなく市外の人をも招き入れやすい交流の場をつくり出します。  
 ・敷地全体のスペースを有効に活用し、回遊性のある開放的な広場と施設を提案します。また、有機的なゾーニングによって建物の存在感を和らげ、敷地周辺と施設が自然に交わるよう計画します。  
 ・施設に賑わいと落ち着いた環境をつくる為に回遊する配置計画とし、エリア毎の役割を明確化します。また、様々な活動を受け入れられる大きな広場(中庭)が施設に一体感をつくり出します。



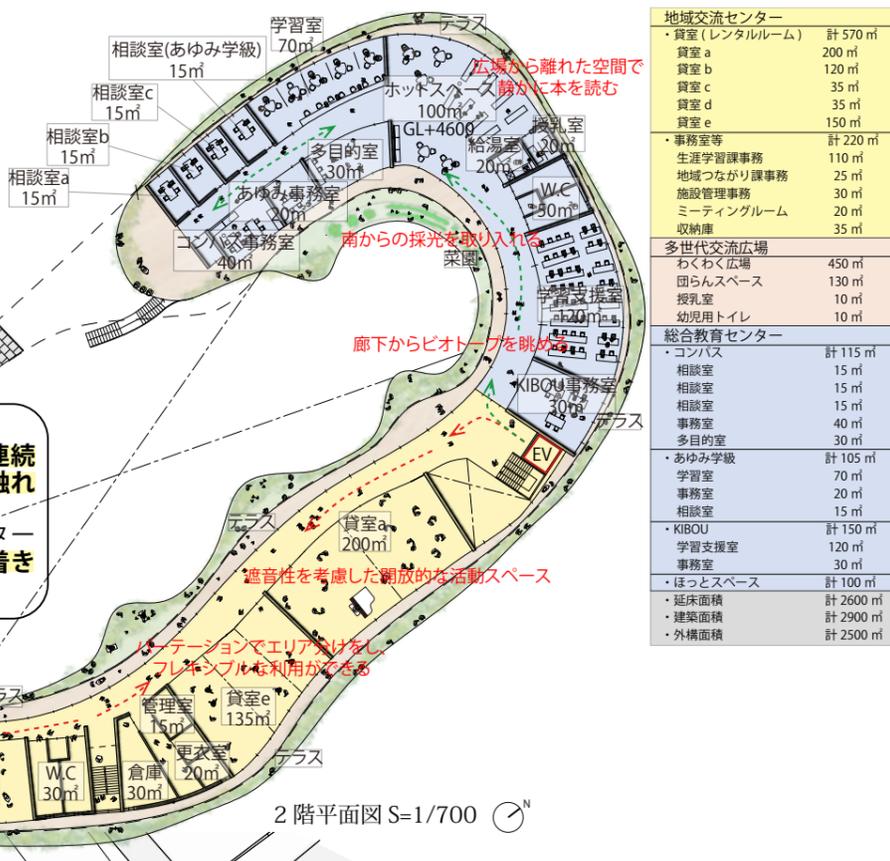
■教育センター  
 ・教育センターは自然豊かな歴史公園側に配置して開口部を大きくすることで、室内でも自然が豊かに感じられる空間をつくり出します。また、両側の開口部を開くことで、南から北へ流れる心地の良い風を室内に取り込むことができます。  
 ・動線と繋がる部分に各施設の事務室を設けることで、安全で落ち着きのある空間をつくり出します。  
 ・1階、2階、広場からアクセスする階段を設けることで、バリアフリーを配慮した回遊動線を確保します。

■2階平面計画  
 ・スラブ上部を緑化することで2階に自然と連続した空間が生まれ、利用者は立体的に自然と触れ合うことができます。  
 ・交流センターを文化センター側、教育センターを歴史公園側に配置し、賑やかな空間と落ち着きのある空間を緩やかに区分します。

■1階平面計画  
 ・ワンストップ窓口を施設中央部に集約して全体を見渡せる位置に配置することで、アクセスと管理がしやすいように計画します。  
 ・施設内の広場(中庭)はいつでもどこでも自然と触れ合える計画とし、職員や一般利用者が施設全体を一体に感じられる空間をつくり出します。

■みんなの広場  
 ・施設内の広場はいつでもどこでも自然と触れ合える計画とし、施設で働く職員や一般利用者が内外の境界を感じない空間を楽しむことができます。  
 ・広場内の多様な植生やピオトープによってつくられる生態系が新たな自然環境を施設内につくり出します。

■わくわく広場  
 ・わくわく広場を道路と公園に面する場所に設けることで、施設の視認性を高めます。



■落ち着きのあるピロティ空間  
 ・歴史公園側のピロティ空間は柱をランダムに落として様々な場所をつくることで、ゆったりと休憩場、雨の日の遊び場、ワークショップの開催など、屋外にいながらも利用者が落ち着いて過ごせる空間をつくり出します。



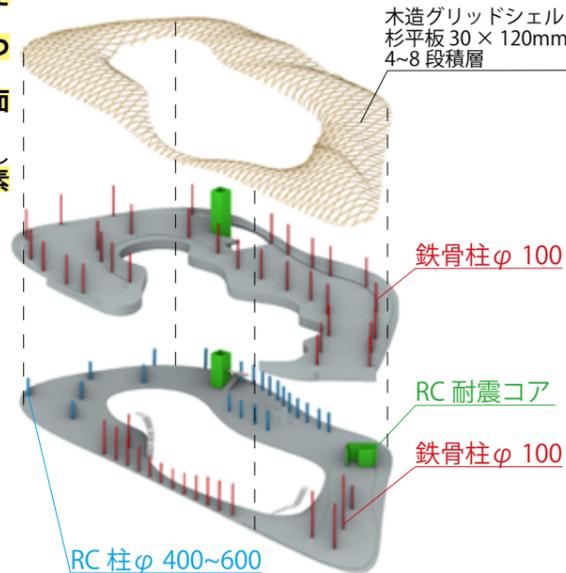
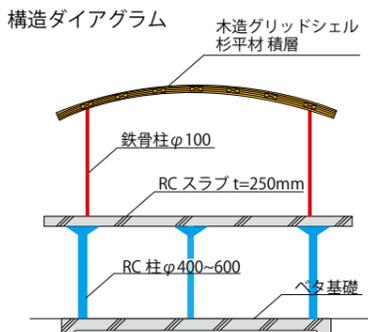
地域交流センター	計 570㎡
・貸室(レンタルルーム)	
貸室 a	200㎡
貸室 b	120㎡
貸室 c	35㎡
貸室 d	35㎡
貸室 e	150㎡
事務室等	計 220㎡
生涯学習課事務	110㎡
地域つながり課事務	25㎡
施設管理事務	30㎡
ミーティングルーム	20㎡
収納庫	35㎡
多世代交流広場	
わくわく広場	450㎡
団らんスペース	130㎡
授乳室	10㎡
幼児用トイレ	10㎡
総合教育センター	計 115㎡
・コンパス	
相談室	15㎡
相談室	15㎡
相談室	15㎡
事務室	40㎡
多目的室	30㎡
あゆみ学級	計 105㎡
学習室	70㎡
事務室	20㎡
相談室	15㎡
・KIBOU	計 150㎡
学習支援室	120㎡
事務室	30㎡
・ほっとスペース	計 100㎡
・延床面積	計 2600㎡
・建築面積	計 2900㎡
・外構面積	計 2500㎡



コミュニティ道路より施設を見る

### 連続した木造シェル屋根で3つのエリアをつなぐ安心で自由な構造

- ・耐力壁付きRC及び鉄骨柱で、耐震、耐火性能をもった自由度の高い形態とします。各ゾーンを渡る大屋根は木造グリッドシェルで軽快につながります。
- ・木造シェル屋根は製材（板材）を重ねたもので、特殊断面を用いずに組み上げます。
- ・不燃処理を施した西尾市産の杉板を用いた屋根構造として、準耐火建築の要件を満たしながら、西尾市周辺の素材を活かした空間をつくります。
- ・基礎はベタ基礎を採用することで、接地面積を大きくします。
- ・屋根を木造とすることで軽量化を図り、接地圧を小さくすることで、地盤補強などのコストを削減することができます。



緑化テラスより広場を見る

### 自然循環を取り込んだパッシブな学習施設

#### 西尾市にしかないサスティナブルな環境制御システム

- ・豊かな自然を有する本敷地にある緑、風、水、太陽光、地熱などの自然要素やエネルギーの循環を施設に最大限取り入れることで、施設そのものの仕組みが自然の循環の一部であり、施設に触れることで利用者の学びを生み出すことが可能な施設を計画します。
- ・雨水や風、太陽熱の利用など、施設全体で省エネルギーに配慮して空調負荷を低減し、イニシャルコストの削減をします。
- ・2階テラスでの植栽と庇、壁面でのグリーンカーテンで日射遮蔽を行い、夏の強い日差しを低減します。高効率パッケージエアコンを用いた汎用性の高い冷房を導入します。
- ・維持管理の容易な植栽計画、成長の遅い樹種の選定、保水性の高い土壌の採用、雨水を利用した自動灌水設備の導入などにより、植栽の維持管理の負担の少ない計画とします。
- ・大屋根の断熱を強化し、省エネルギー性を高めて維持管理と長寿命化に配慮した計画を行います。

#### 立面計画

緑化ルーバーや杉板パネルによって、施設内に入る日射を制限します。

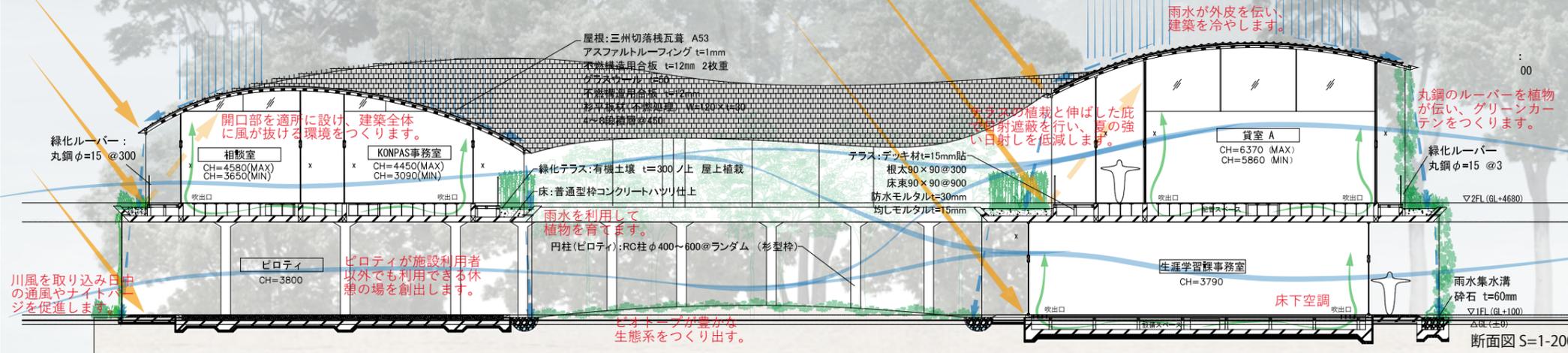


緑化ルーバーによる日射遮蔽

杉の壁面によって日射を制御する



ピロティを見る



### 自然の植生が連続して宿るプラットホーム

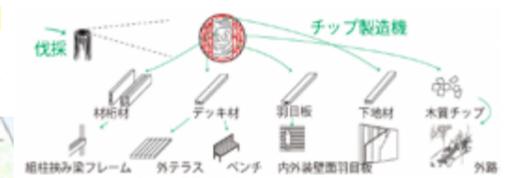
- ・大地とつながる人工地盤（ひだ）はRC造で土壌環境を作りやすい構成とし、現状の自然環境を極力残す構造計画として採用します。
- ・スラブ（ひだ）の屋根がかからない部分は全て緑化し、周辺の植生が連続して宿っていくプラットホームとして考えます。
- ・広場（中庭）は、水の循環を考慮したランドスケープデザインを行います。雨水を敷地内に蓄えて浸透させ、オーバーフローする水は周辺敷地へ流すことで、雨水を土地へ還す計画とします。



敷地内で畜雨して周辺へ浸透させる

### 地域資源の利用

- ・西尾市の豊かな地域の山林の木材や石や土などの地場素材を積極的に利用し、地域の資源循環、経済循環を促すなどと共に地域の職人文化の継承を図ります。また、輸送コスト削減のため、1本の木を下地材、建具材、仕上材、家具まで余なく使用します。

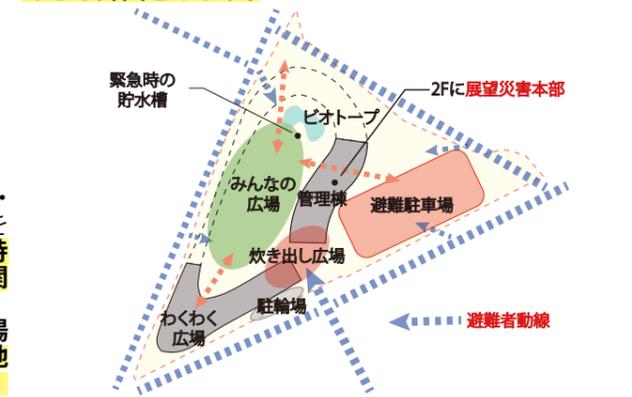


### 持続可能な施設運営体系づくり

- ・周辺大学と連携して、施設や広場のベンチ・デッキ、遊具作製や西尾の植物・生態系を観察するWSなどを開き、市民自らが維持管理を行いながら、興味を持って施設に関わる運営体制をつくります。
- ・広場（中庭）は西尾祇園祭のイベント会場利用を想定し、今後の西尾市で育まれる地域の風景の一部としての施設を目指します。

### 町民・利用者のための防災拠点と利用

- ・広場（中庭）と建物を利用して、災害時に防災拠点となるよう計画します。避難体制が整うまでの一時的な宿泊場所として利用できます。
- ・周辺施設と連携し、西尾市小学校を居住ゾーンとし、予備的にわくわく広場や貸室を活用します。
- ・地下に貯水槽を設けて、緊急時に生活用水として活用できる計画とします。



### 徹底したコスト・スケジュール管理

- ・社会情勢の変化に対応しコスト管理・スケジュール管理などの業務を確実に遂行するため、フェーズ毎に行政及び関係者と協議するチェックポイントを設けます。
- ・当計画は地域づくりの一環と捉え、西尾市の未来を担う人材育成や協働の手法（WS等）を共に考えます。
- ・施工性、経済性を考慮した設計とし、各段階でコスト管理をしっかりと行う工程を組みます。
- ・設計段階をアーカイブとして記録して積極的に共有発信を行うことで、地域に根差した施設をつくります。
- ・建設時に発生する土を外構の築山や盛土に利用することで、極力排出のでない計画を行います。

年	令和5年			令和6年			令和7年		令和8年	
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
全体(決定事項)	基本設計	概算見積	実施設計	概算見積	実施設計	概算見積	実施設計	概算見積	実施設計	概算見積
スケジュール決定	基本設計方針決定	基本設計図書作成	実施設計方針決定	概算見積	実施設計	概算見積	実施設計	概算見積	実施設計	概算見積
設計と条件整理	一般図作成	詳細設計・実施設計図書の作成	諸官庁関係機関との打合せ	コストチェック						
ヒアリング/ワーキング	ヒアリング1	ヒアリング2	ヒアリング3	ヒアリング4	ヒアリング5	ヒアリング6	ヒアリング7	ヒアリング8	ヒアリング9	ヒアリング10
行政+関係者	キックオフMTG	定例MTG	定例MTG	定例MTG	定例MTG	定例MTG	定例MTG	定例MTG	定例MTG	定例MTG

	面積 (㎡)	金額 (円)
①解体工事費		42,000,000
②施設建設費		
屋内工事	2,593 (㎡)	1,282,467,375
1F面積	1,262 (㎡)	
2F面積	1,331 (㎡)	
屋外工事	824 (㎡)	99,704,155
1F面積	109 (㎡)	
2F面積	715 (㎡)	
合計	3,417 (㎡)	1,382,171,530
③公園・駐車場設備工事費		
外構・植栽工事	5,083 (㎡)	230,641,482
駐車場工事	1,894 (㎡)	11,458,718
合計	6,977 (㎡)	242,100,200
②+③合計		1,832,898,903